

中間とりまとめの概要と 協議会としての活動報告

令和5年3月14日
淀川舟運活性化協議会

1. 2025年大阪・関西万博までの具体的な目標

万博の開催を契機として、舟運を核とした淀川沿川地域のにぎわいづくりのため、定期観光船の就航や沿川地域の資源を活用した観光コンテンツの商品化、これを支えるハードの整備等、以下の4項目を目標とする。

(1) 沿川地域の資源を活用した観光コンテンツの商品化

自治体と舟運事業者が連携した淀川沿川地域の魅力発信イベントや社会実験の開催等を通じた観光コンテンツの開発・商品化

(2) 「かわまちづくり計画」の登録箇所数増加

登録に伴う周辺整備・事業者の誘致等により、沿川のにぎわいを創出

(3) 船舶航行のための航路確保等

大阪市内～枚方・高槻間：大型船の安全な就航
枚方・高槻～伏見間：中型船の安全な就航
伏見～宇治間：水上アクティビティの安全な実施
※大型船：総トン数20t 程度以上の船舶、中型船：総トン数20t 程度未満の船舶
※水上アクティビティ：カヌーやEポート等による水面利用

(4) 淀川河口部での川船、海船の円滑な乗り継ぎ

淀川大堰閘門を活用した万博会場までの航行ルート確保を含む



船内コンテンツの充実化
船内でミニコンサート
(R4.12社会実験)



十三地区かわまちづくり (R4登録)



2025万博
舞洲
夢洲

川船・海船の円滑な乗り継ぎ



船内コンテンツの充実化
テーマパーク帰りの船内で
アフタヌーンティコースを提供
(R4.12社会実験)



Eポートイベント
(R4.10社会実験)



淀川サンセットクルーズ
(R4.12社会実験)



淀川ナイトクルーズ
(R4.12社会実験)

2. 淀川沿川一体となったかわまちづくり

- 万博までの具体的な目標及びその後の持続的な舟運振興策を実現させるプロジェクトとして、各拠点において、舟運を核としたにぎわいづくり・まちづくりに向けた「かわまちづくり」に取り組むとともに、船着き場・航路確保・淀川大堰閘門等のハード整備や施設の活用方法をとりまとめ、淀川沿川全体で相乗効果を発揮する一体的なかわまちづくりを推進する。
- また、持続的な舟運振興策を舟運事業者と連携を深めるとともに、淀川沿川地域の魅力発信、舟運を活用した社会実験やイベント等を展開することにより、淀川沿川の各地区のかわまちづくりにおける継続的なにぎわいづくりを進める。

3. 淀川沿川かわまちづくりネットワーク（仮称）

- 各地区のかわまちづくりは、淀川舟運を核とした淀川沿川のにぎわいづくりとして連携し、本協議会構成員と各地区でかわまちづくりの推進主体となるかわまちづくり協議会（以下、「個別協議会」という。）の構成員が議論を深める必要がある。
- 一方、本協議会のワーキンググループには個別協議会における民間事業者等の構成員が含まれない場合がある。
- そのため、個別協議会の構成員等が参画できる場として、協議会規約第6条に基づくワーキンググループに、本協議会の構成員以外の者も参画し議論を深めることとし、その場を「淀川沿川かわまちづくりネットワーク（仮称）」と呼称する。
- なお、かわまちづくり計画の登録申請は取り組みの内容が整った拠点から順次行い、第一弾の登録申請は令和5年6月を目指す。（第一弾の登録にあたっては、令和4年度内を目処として取り組みの骨子を打ち出す。）

R4年度実施社会実験① Eボート連携社会実験

淀川舟運活性化協議会

- 4市（宇治市・京都市・八幡市・枚方市）が連携した『Eボート川下り&とっておき体験』の開催に合わせ、参加者へのアンケート調査や仮設船着場の設置、天ヶ瀬ダムでの点検放流を実施。
- アンケート結果より、船着場までのアクセス、イベントのPR方法、船着場や周辺設備等の課題やイベントに対するニーズ等を把握。

■実施概要、参加者数：

宇治コース 10/8(土) 8名
(茶筒作り体験)

宇治-伏見コース 10/9(日) 12名
(まち歩き&お菓子づくり体験)

伏見-八幡コース 10/29(土) 26名
(手ぶらで七輪BBQ&和紅茶体験)

八幡-枚方コース 10/30(日) 26名
(クリスマスリース作りorコーヒー飲み比べorスコーンづくり)



■参加者の意見（一部抜粋）

- ・ 普段見られない川からの景色、上流からの景色の移り変わりを楽しめた。（宇治）
- ・ 宇治らしい体験できて良かったです。（宇治）
- ・ 船を漕ぐなど、非日常を体験することができました。（伏見）
- ・ 雨ということもあったので、一時間がちょうどよかった。（伏見）
- ・ 歴史や川の自然などについてガイドがあり、理解が深まった。（八幡）
- ・ 和紅茶もBBQも、とてもおいしかった。お天気も良く満足。（八幡）
- ・ もうちょっと漕げたらよかった。（枚方）
- ・ リースづくりは帰ってからも楽しめそうで嬉しいです。（枚方）
- ・ 初めての手作りスコーンだったので楽しく体験できました。（枚方）

R4年度実施社会実験② ひらかたパーク連携社会実験

淀川舟運活性化協議会

- ひらかたパークと連携したクルーズイベントの開催に合わせ、利用者や民間事業者のニーズ等を調査。
- 大阪調理製菓専門学校プロデュースのアフタヌーンティーの提供や、淀川大堰付近では船上からのサンセット等、船内コンテンツを充実化。
- 船着場までの送迎バスの必要性や告知媒体の検討、船着場や河川敷の魅力向上等の課題を把握。

■実施概要

実施日時：12月10日(土) 14:30～17:40

参加者数：11名（6組）

■タイムスケジュール

～14:30 ひらかたパークを満喫

14:30 ひらかたパーク 東ゲート 集合

14:40 バス 乗車

15:00 点野緊急用船着場 乗船

アフタヌーンティーを満喫

17:40 八軒家浜船着場（天満橋駅） 到着・解散



アフタヌーンティー一例



船上からの夕陽



毛馬閘門



八軒家浜船着場

■参加者の意見（一部抜粋）

- ・デッキに出て360度見渡せるのが本当によかったです。安いと感じました。
- ・普段見る事のできない淀川からの風景と船内のおしゃれな雰囲気を楽しめました。
- ・船×ひらパーで充実感がちょうどよく、また料理が最高でした。多いくらいでした。
- ・今回は知ってる景色を違う角度から見れて楽しかったです。旅行気分になって嬉しい。
- ・万博会場に行くとなれば早く着きたいので船でゆったりとは行かないかも。
- ・万博のとき、陸路は渋滞が予想されるので、行くならのんびり船で行ければと思います。
- ・出航後、しばらくずっと同じ景色が続くため、船内コンテンツなど何かあるとよい。
- ・船着場は、遊べる施設があるのと、駅から近かったら、もっと利用しやすいと思います。
- ・ひらパーの集合場所に看板、のぼりなどのアナウンスが欲しかったです
- ・船着場解散だけでなく、ひらパーまで希望者は送って欲しい。
車で来られるし、ひらパーのナイトライトアップも見られる。

R4年度実施社会実験③ 淀川ナイトクルーズ社会実験

淀川舟運活性化協議会

- 淀川下流域のナイトクルーズイベントに合わせ、利用者や民間事業者のニーズ等を調査。
- ジャズのミニコンサートを船内コンテンツとして提供したところ、乗船者の好評を得た。
- 船内における複数のコンテンツやガイドの必要性、船内の配席の配慮、集合場所（十三河川敷）までの誘導案内等の課題を把握。

■実施概要■

実施日時：12月17日(土) 16:40～19:20
参加者数：29名（募集人数：30名）

■タイムスケジュール■

- 16:40 淀川 十三河川敷集合
→送迎車で移動
- 17:00 新北野緊急用船着場 乗船
淀川の夜景、お食事、音楽を満喫
- 19:00 新北野緊急用船着場 到着
→送迎車で移動
- 19:20 淀川 十三河川敷到着・解散



■参加者の意見（一部抜粋）

- ・おいしいご飯を食べたり、素敵な音楽を聞いたりして楽しかったです。
- ・クルーズのコース、ジャズの生演奏がよかった。
- ・淀川周辺の説明や案内、ルートの簡単な地図などがあれば、さらに楽しめるかと思います。
- ・淀川の橋や鉄道の説明が、演奏の合間にあったらよかった。どこを走っているかわからない。
- ・相席で落ち着けず、景色もよく見られず残念でした。配席の配慮をしてほしかった。
- ・集合場所のアクセスが難しかった。
- ・万博会場までの船は、今までなかったルートなので体験してみたい。
- ・普通の交通網だと遠く、乗り換えが必要なため、船があるなら乗りたい。
- ・河川敷までの道中が楽しいと思える歩道や、途中にお店やカフェがあるとよい。
- ・水辺にのんびりできる広場などがあればうれしい。